

平成30年度長野県農業大学校評議委員会ご意見・ご提言

長野県農業大学校

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
		総括	<ul style="list-style-type: none"> ○実践経営者コースの人数が少ないと学習意欲が低下しかねない。最低限の人数を確保するようお願いしたい。 ○評価表での実践経営者コースの評価は、学習指導ではB評価で、学校運営ではC評価となっている。学習指導面の評価をきちんとしてそれに基づいて学生募集を検討することが良い。 ○県内で成功している農業経営者の話を聞く機会や、農業経営の優良な改善事例を聞く機会を作ってほしい。 ○評価表の配列を理解しやすいよう変えたらどうか。
教育活動	学習指導	授業実習内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT、IoTを授業に取り入れてほしい。そのために農機メーカーや情報産業との連携強化を進めてほしい。 ○プロジェクトにおける労働時間の評価は就農後大変重要なので、その重要性を理解させて評価実施率が向上するよう指導してほしい。 ○授業アンケートは意向把握に有効なので続けてほしい。 ○資格試験の受講者の増加及び合格率の向上に努力してほしい。
		実践経営者コース運営の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ○コース運営と就農支援とのスピード感を持った一体的実施は引き続き関係機関の協力を得ながら推進してほしい。 ○実践経営者コースでは、教育内容の充実とともに、アフターフォローも行ってほしい。
	生活指導	自他の生命を尊重する精神を養い、豊かな心を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの訓練の場としても寮生活は有意義である。寮生活を活用して、多くの学生同士で関係が築けるしくみづくりを考えてほしい。 ○自治会活動を通じた人間関係の構築により、技術だけでなく人間的な成長も期待できる。
学校運営	農大魅力発信と学生確保活動	学生募集のPRを更に充実する	<ul style="list-style-type: none"> ○実践経営者コースの入学確保については以前から課題で、評価は昨年もCであった。実践経営者コースの入学者が少ないことの課題を分析し、高校生の入学を促進することを含め検討してほしい。 ○進路指導担当教諭との情報交換の折などに高校新卒者も実践経営者コース選択が可能なことを伝えてほしい。 ○高校生にとって農業法人等合同説明会は農業経営への理解が深められる良い機会だ。 ○農業経営コースについても高校、市町村やほかの団体の協力も得て、受験者の確保に努めてほしい。